

# 2年間の学びとカリキュラム

## 短期大学部 保育学科 第一部

### 1年次 保育者・教育者としての基礎を築く

保育や教育の原理から、子どもの発達や保健、音楽や体育など基本的な技能まで、保育者・教育者の基礎を固めます。

#### Point 音楽の技術の向上

子どもの音楽遊びに広がりをもたせるような音楽的支援を実践するための読譜や記譜、そして移調奏に必要な音楽の基礎知識・理論を学びます。子どもの豊かな音楽的感性を引き出すための技術としてピアノ演奏法を学習し、演奏技術の基礎を身につけます。音楽の基礎表現の実践法は1クラスを3グループに分けた少人数で行い、ピアノ演奏法の授業は個人指導で行います。

### 2年次 学外実習を通して実践力を修得する

保育所や福祉施設、幼稚園で保育・教育実習を行い、子どもたちと直接触れ合うことで実践力や自信を身につけます。

#### Point 子どもの食と栄養

子どもの食生活は、身体発育・発達に影響し、人間形成にも大きく影響します。この時期における食生活を栄養面・生活面・精神面等において理解し、保育者として子どもやその家族との関わりの中で望ましい食生活を考えて支援していくための力を身につけます。栄養の基礎を学び、各自の食生活も振り返りながら、食事の大切さを理解します。胎児期・乳児期については、講義と演習(調理や離乳食作り)で学びます。

## 短期大学部 第一部・第三部 全学共通科目

[建学のこころ] ■ 建学のこころ [外国語科目群] ■ 英語1・2 [健康科目群] ■ 健康の科学 ■ スポーツ  
[教養教育科目群] ■ 女性学 ■ 心のはたらき ■ 日本国憲法 ■ 歴史の視点 ■ 経済のしくみ ■ 生活と福祉 ■ 生活と環境 ■ 文章表現法  
■ 生活マナー演習 ■ 基礎情報処理演習1・2

## 保育学科 専門科目群

[福祉の理論] ■ 子ども家庭福祉 ■ 社会福祉  
[こころとからだの発達・健康] ■ 子どもの心理学 **授業Pick up ①**  
■ 子ども家庭支援の心理学 ■ 子どもの保健  
■ 子どもの健康と安全 **授業Pick up ②**  
[保育と教育の理論] ■ 保育原理 ■ 保育内容総論  
■ 社会的養護1・2 ■ 教育の原理と制度  
■ 保育者・教育者論  
[保育と教育の内容・技術] ■ 乳児保育1・2 ■ 保育内容演習(環境)  
■ 保育内容演習(健康)  
■ 保育内容演習(人間関係)  
■ 保育内容演習(言葉)  
■ 保育内容演習(表現1)  
■ 保育内容の理解と方法(造形) **授業Pick up ④**  
■ 保育内容の理解と方法(音楽) **授業Pick up ⑤**  
■ 保育内容の理解と方法(身体) **授業Pick up ⑥**  
■ 保育者養成基礎講座  
■ 保育者養成発展講座 ■ 歌とピアノの技術  
[保育と教育の実践] ■ 保育実習指導1A **授業Pick up ③** ■ 保育実習1A  
■ 教育実習指導1

[福祉の理論] ■ 地域福祉論 ■ 子ども家庭支援論  
■ 障がい児心理学  
[こころとからだの発達・健康] ■ 子どもの食と栄養1・2  
■ 教育相談(カウンセリングを含む)  
■ 子ども理解の理論と方法  
[保育と教育の理論] ■ 保育・教育課程論  
■ 教育の方法と技術  
[保育と教育の内容・技術] ■ 障がい児保育1・2  
■ 特別支援保育・教育の基礎 ■ 子育て支援  
■ 保育内容演習(表現2)  
■ 子どもの健康・人間関係・言葉 ■ 子どもの環境  
■ 保育内容の理解と方法(言語)  
■ 保育者養成実践講座 ■ 子どもの遊びと音楽  
■ 保育・教職実践演習(幼稚園)  
■ **総合表現演習** 詳細はP86へ  
[保育と教育の実践] ■ 保育実習指導1B **授業Pick up ③** ■ 保育実習1B  
■ 教育実習指導2 ■ 教育実習  
■ 保育実習指導2 ■ 保育実習2

■は必須科目、■は選択科目。カリキュラムは変更する場合があります。

## 授業Pick up

### ① 子どもの心理学



子どもの成長や心理的発達のメカニズムを理解します。

人が成長・発達し、変化を遂げていくメカニズムや、そのために必要な条件などを学び、子どもの心理的発達についての基礎的な知識を修得し、子どもを見守る豊かな目を養います。

### ② 子どもの健康と安全



保育の現場に不可欠な実践力を身につけます。

子どもの健康管理と疾病時の対応、授乳やおむつ交換など日常生活における保健活動が保育の現場で実践できるように演習を通して身につけていきます。

### ③ 保育実習指導



実習指導では、保育者としての第一歩を踏み出せるよう、丁寧にサポートします。

実習に向けた「実習指導」では、事前に保育者としての心構えをはじめ専門知識や保育の実践力を磨き、実習後は振り返りを通して自らの課題と向き合い、めざす保育者になれるようサポートします。